

# 次世代のニーズに即した技術開発に向けて

## 新技術研究発表会



下水道新技術推進機構の1年間の研究成果を発表するため、第12回新技術研究発表会を3月14日に東京で、3月20日に大阪でそれぞれ開催しました。今回の研究発表会には、両会場併せて約450名の方々に参加していただきました。

特別講演は、東京会場が国土交通省の増田隆司下水道事業調整官に、同じく大阪会場が内田勉近畿地方整備局都市調整官に「下水道事業をめぐる最近の話題」と題してご講演いただきました。また、基調講演は、松谷明彦政策研究大学院大学教授に「人口減少社会と社会資本」をテーマに、東京・大阪の両会場でご講演いただきました。その後、本機構職員による研究成果報告を行いました。

## 技術委員会

平成18年度第3回技術委員会が3月1日に開催され、新世代下水道支援事業制度（新技術活用型）で行われている共同研究1テーマと、民間との共同研究など18テーマの計19テーマについて審議が行われ、「直胴型遠心脱水機に関する共同研究」を含む9テーマが終了。田中和博委員長から本機構の松井理事長に答申が行われました。





## 建設技術審査証明書を交付

平成18年度第2回審査証明委員会を1月30日に開催し、平成18年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に依頼のあった新規23，更新6，変更21の合計50技術について審議を行いました。また、3月2日には、東京・港区の発明会館でこれらの技術うち審議の終了した45技術に対する審査証明書の交付式が行われ、楠田哲也委員長（北九州市立大学大学院教授）の「技術者の工学倫理」の講演に引き続き、各開発企業に対して証明書の授与が行われました。



## 下水道新技術セミナー

第40回（平成18年度第3回）下水道新技術セミナーを2月6日に東京、2月16日に大阪の2会場で開催しました。発表されたテーマは、近年技術革新が著しいマンホールポンプ技術の活用についてで、両会場合わせて約400名の参加者がありました。



## 新技術現場技術研修会

第43回（平成18年度第4回）の新技術現場研修会を2月23日に岐阜市の北部プラントおよび北西部プラントで開催しました。今回の研修会は、岐阜市がロータスプロジェクトによって開発を進めている「汚泥焼却灰からのリン回収技術」を学ぼうというもので、地方公共団体や民間企業の技術者約50名が参加しました。

